



あやまるほしくん

今月の投映

4月15日(水) まで投映を休止します  
 4月16日(木) 以降の予定は未定です

新型コロナウイルスの影響により、ご迷惑をおかけいたしております。楽しみにされていたみなさま、誠に申し訳ございません。今後の予定は未定です。ホームページなどでお知らせしていきますのでご覧ください。投映再開後のお越しをお待ちいたしております。

投映日 ● 一般向け ★ 子ども向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

	11:00~	13:30~	15:30~	16:30~
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※火・金曜日は投映はありません(8月の金曜日は投映があります)。  
 ※15日(水)まで新型コロナウイルスの影響によりお休みです。16日(木)以降の予定は未定です。再開をお楽しみに!

小学4・6年生が理科で習う内容を中心に毎月わかりやすく星のお話をします。授業にも役立ちます!  
 ※今月は中止です  
 毎回大変混み合うため、感染拡大防止に配慮し、たとえ投映が再開されていても19日(日)には行いません。4月分「月を探そう!」(小4)は、可能ならば日程を振り替えて投映する予定です。

観覧料

大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円  
 団体(20名以上) 大人250円、子ども80円  
 障がい者個人および介護者1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)  
 ※久喜総合文化会館メンバーズクラブ「フレンズ」会員の方はご本人様のみ無料

イベントの予定

『春休み全天候プラネタリウム』中止のお知らせ  
 ■新型コロナウイルスの影響により、春休み期間の全天候投映は中止となりました。日程を振り替えての投映はいたしません。  
 天体観望会 中止のお知らせ  
 ■新型コロナウイルスの影響により、4月25日(土)に予定されていた天体観望会は中止となりました。日程を振り替えての実施はいたしません。次回の予定は未定です。

ゴールデンウィーク特別投映 4月29日(水・祝)、5月2日(土)~6日(水・振替休日)

①11:00~ ②13:30~ ③15:30~ ※5月2日(土)11:00~は子ども投映。  
 ■上記日程で予定しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、今後変更になる場合があります。ホームページなどでお知らせします。

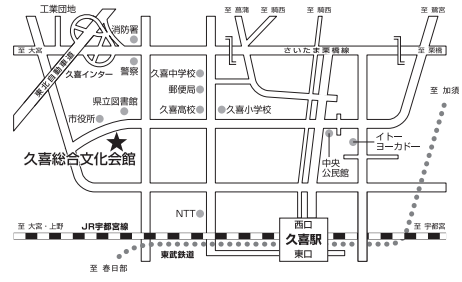
◎ホームページ上では天文情報の紹介や毎週変わるクイズ、星座のぬりえ、星座のぬりえ・小4理科の授業に役立つ月の観察用紙のダウンロード、郵送で参加できる楽しい企画などを行っています!

ぜひのぞいてみてください! URLをクリック! →<https://www.kuki-bunka.jp/planetarium/9386/>

5月の投映内容(予定)  
 5月の予定は未定です  
 決まり次第ホームページなどでお知らせします

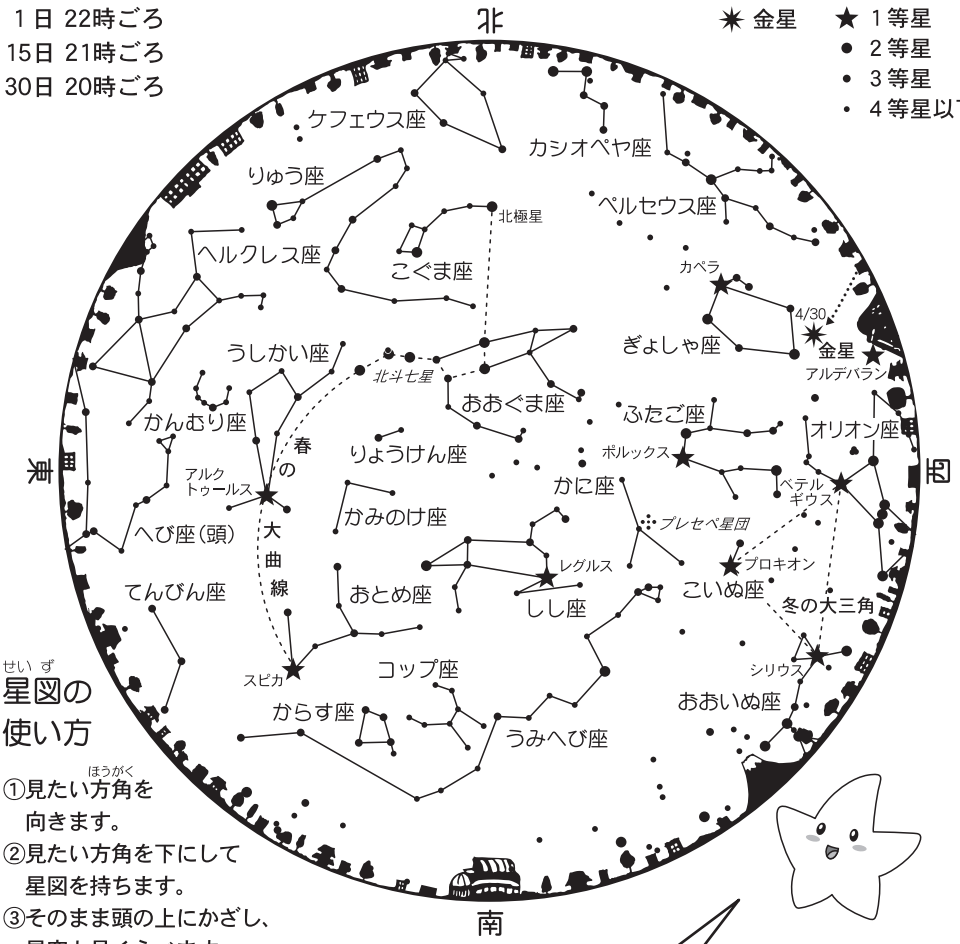
久喜総合文化会館

〒346-0022  
 埼玉県久喜市下早見 140 番地  
 TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488  
 JR・東武鉄道久喜駅西口より徒歩約 15 分  
 久喜インターチェンジより車で約 5 分



# 4月の星空

1日 22時ごろ  
15日 21時ごろ  
30日 20時ごろ



## 星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

北斗七星からアルクトゥールス、スピカを結ぶカーブを春の大曲線と呼ぶよ！

## 惑星

**西金星**…今月28日に最大光度を迎え、-4.5等級ととても明るく輝く。最大光度の頃は昼間でも見える場合もある。

## 主な1等星

- 東アルクトゥールス[うしかい座]…オレンジ色。明るく目立つ。
- 南東スピカ[おとめ座]…やや低め。白い星。
- 南レグルス[しし座]…見上げる高さ。
- 南西シリウス[おおいて座]…星座の星の中で最も明るい。かなり低い。
- 南西プロキオン[こいぬ座]…冬の星だがまだ見られる。
- 西ベテルギウス[オリオン座]…低空に赤っぽい色に輝く。
- 西ポルックス[ふたご座]…やや高めにありまだしばらく見られる。
- 北西カペラ[ぎょしゃ座]…明るく目立つ。

日の出	4月1日	5:27
	15日	5:08
	30日	4:49

日の入	4月1日	18:04
	15日	18:16
	30日	18:28

こよみ	4月1日	● 上弦 火星と土星が接近 (明け方南東の低空)
	4日	○ 清明 金星とすばるが接近 (夕方西の空)
	8日	○ 満月 (スーパームーン)
	15日	● 下弦 月と木星が接近 (明け方南東の空)
	19日	☁ 穀雨
	23日	● 新月
	26日	月と金星が接近(夕方西の空)
	28日	金星が最大光度(-4.5等級)
	29日	昭和の日

## コロナとは？

コロナとはラテン語で王冠のことです。中にチョコクリームとか入ったねじれたパンではありません。それはコロナです。最近世間を騒がせているウィルスもコロナと名付けられています。円の外にトゲトゲが生えた王冠のような形をしているからだそうです。しかし星に興味があれば真先に思い浮かぶのは太陽コロナでしょう。太陽を取り巻く高温のガスで、地球でいう空気(大気)のようなものです。太陽の中心温度は約1500万℃ですが表面の温度は約6000℃。熱源から離ればだんだん温度が下がるのは当たり前です。ストーブのそばより離れた部屋の隅の方が暖かかったらおかしいですね。しかしコロナは太陽表面よりさらに離れているのになんと100万℃以上もあるのです。どのような仕組みで熱くなるのかは謎で「コロナ加熱問題」といわれています。

太陽表面で起こる「ナノフレア」という爆発によって温められるという説や、太陽表面から出る磁力線が揺さぶられ発生する波がエネルギーを伝えるという説などがありますが、はっきりとしていません。そんなコロナを地上から見られる機会が皆既日食です。月により眩しい太陽本体が隠され、まわりに淡く広がるコロナを見ることが出来ます。次の皆既日食は今年の12月15日ですが、南米(現地時刻12月14日)に行かねば見られません。久喜で見られるのは2035年9月2日とかなり先です。しかし部分日食ならば、久喜でも今年の6月21日に見ることが出来ます。コロナは見られませんが、ウィルスが収まり観望会を開けるといいですね。



2017年8月21日 撮影/友澤敬一さん